

全国の実習教員のみなさんに訴えます。

どの子にもゆきとどいた実験・実習教育実現のため
教育諸条件の回復・改善は急務です。
制度改革実現を展望し「署名」のとりくみをすすめましょう

2018年6月17日

全教実習教員部常任委員会

全教実習教員部は「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を毎年集約し、文部科学省交渉をはじめとする中央行動にとりこんでいます。この署名は「実習助手」制度改革を求めるとともに、私たちはどの子にもゆきとどいた実験・実習教育実現のために、教育予算増額や定数配置の改善、施設整備の充実を強く求めるとともに、「実習助手」制度改革を要求しています。

私たち実習教員が追求してきた「実習助手」制度改革は、教育諸条件の整備が一定段階に到達したとき、これを背景として、実験・実習に係わる部分をより改善していくためのものです。制度改革実現のためには、実験・実習予算が確保され、教諭を含めた教職員定数が保障され、ゆとりある教育条件にすることが必要です。

しかし現在、制度改革の実現を困難にさせているのは、教育諸条件そのものが改悪されている点にあります。そのため、わたしたちの「実習助手」制度改革運動も停滞を余儀なくされています。

「実習助手」制度改革を実現するためには、全教の教育条件改善に向けてのとりくみとともに、わたしたち実習教員部の署名・中央行動のとりくみを、すすめていくことが大切です。

「実験・実習教育の充実と『実習助手』制度改革を求める署名」を多数集約することは、「どの子にもゆきとどいた実験・実習教育」を実現させることにつながります。文部科学省交渉、要請行動などを成功させるために、全国のみなさんのご協力をお願いします。